

全数届出見直しに伴うCOCOAの今後の取扱について

第100回（令和4年9月21日）
新型コロナウイルス感染症対策アドバイザーボード
事務局提出資料

資料2-4

○ 令和2年6月からのCOCOAの運用を開始以来、約4,070万件ダウンロードされ、陽性登録件数は約360万件と、多くの方々に利用されてきたところ。

※ 数値は令和4年9月16日時点。

○ その機能を十分に発揮するためには、利用者数や陽性登録件数の増加によるスケールメリットを活かすことが必要だが、全数届出見直しによって届出対象者が高齢者等の重症化リスクの高い者に限られることから、陽性登録が可能な者も限定されるため、その効果が限定的になることが見込まれる。

このため、COCOAの機能を停止することとする。

※ 行動が活発な若年層の多くが届出対象外のため、さらに効果が限定されると考えられる。

※ なお、機能停止にはシステム改修が必要となるため、デジタル庁で技術的な検討を行った上で、年内を目途にアプリの機能を停止する改修を実施予定。

○ これまでのCOCOAの活用状況や評価、さらに活用を通して見えた課題等について総括を行うこととしており、その結果を踏まえながら、ITツールを活用した感染防止対策のあり方の参考としていく。

※ デジタル庁で報告書を取りまとめ、年度内に公表予定。

